# 【記入例】

別記様式第９－５号

遊漁船安全設備導入支援事業実績報告書　　※①

令和〇年〇月〇日

一般社団法人海洋水産システム協会
　会　長　殿

住　　所　　東京都中央区日本橋〇－〇－〇
事業実施者名　　システム太郎

水産関係民間団体事業補助金交付等要綱の運用について（平成 22 年３月 26 日付け 21 水港第 2597 号水産庁長官通知）の第３の２－10 の（３）のウの（イ）のｃの（ｄ）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

１　取組の概要

安全で秩序ある遊漁船業の振興に資することを目的とし、以下の安全設備を導入して利用者の安全性の向上を図るとともに資源管理の取組みを行った。

２　機器設備導入内容　（略）

（１）導入状況

| 導入日 | 導入機器設備内容 | 導入金額<br>（税抜本体価格）※ | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ※②令和△年<br>△月△日 | 機　　種：非常用位置等発信装置<br>メーカー：〇〇製作所<br>型式・番号：〇〇〇-1500<br>出力能力：161.500～162.025MHz | ※③　　円 | |

（２）事業の経費

| 事業に要した経費<br>（税抜本体価格）※ | 交付決定額 | 助成金の額 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ※③　　円 | 〇〇,〇〇〇円 | ※④　　円 | |

※①　本書類の作成日を記載する。

※②　安全設備を導入した日を記載する。

※③　「導入金額」ならびに「事業に要した経費」は、請求書の本体金額（税抜き）を転記する。
〇見積額と請求額に変更がない場合は、助成金交付申請書（別記様式第 9-3 号）に記載した「導入金額」を記入してください。なお、変更がある場合は、変更後の金額を記載してください。
　※助成金交付申請書（別記様式第 9-3 号）に記載した**「導入金額」がわからない場合**は、以下、事務局に確認してください。

(一社)海洋水産システム協会　遊漁船安全設備導入支援事業事務局
TEL：03-6411-0021　e-mail：yugyo_anzen@systemkyokai.or.jp

※④　「助成金の額」は、①見積額と請求額に変更がない場合、②請求額が見積額よりも大きい場合は、交付決定額をそのまま転記する。なお、③請求額が見積額よりも小さい場合は、（本体金額÷２）円から千円未満を切り捨てた額を記載する。

【例】
①非常用位置等発信装置の導入を２３０，０００円で計画して申請し、２３０，０００円で導入した場合。　　→　**助成金の額はそのまま転記してください。**

②非常用位置等発信装置の導入を２３０，０００円で計画して申請したが、結果的に２５０，０００円を要した場合　→　**助成金の額はそのまま転記してください。**
※導入金額が増大しても、助成金の額は増えません。

③非常用位置等発信装置の導入を２３０，０００円で計画して申請したが、結果的に２１５，０００円で導入した場合。
　→　**「助成金の額」２１０，０００円÷２＝１０７，５００円**
　**千円未満を切り捨て　→　１０７，０００円と記入してください。**
※導入金額が減額された場合は、それに応じて助成金の額は減額されます。